

## 憲法9条を活かし「戦争する国づくり」を阻止しよう

本日、「第13回九条の会東北交流会」を開催しました。

2010年から始まった「東北交流会」で、私たちは東北6県の各九条の会の活動を学び合い、憲法9条を活かし、日本を再び戦争をする国にしないため様々な活動を行ってきました。

1955年、憲法改正を党是として生まれた自由民主党は2012年の第二次安倍晋三政権発足以降、急速に憲法改正への動きを強めてきました。2012年3月に「国防軍」を保持するとした改憲草案を発表、2018年3月には「①自衛隊の憲法への明記 ②緊急事態への対応 ③参院の合区解消 ④高等教育の充実」という改憲4項目を決定しました。

いま、国会の衆参両院での憲法審査会ではこの改憲4項目をめぐる、とりわけ、「緊急事態」改憲の問題が議員の任期延長問題とも絡んで議論されています。自民党は「緊急事態条項では、ほとんどの会派が一致している」として、改憲のための作業部会をつくる画策を進めています。作業部会で案文を作成し、一気に国会発議を行い、国民投票に持ち込もうとしています。

緊急事態改憲は、国家有事・武力攻撃事態等においては、政府の判断で議員任期延長を認めるもので、武力攻撃＝戦時を想定しており交戦権否認の9条とは相いれない改憲であります。戦時を想定する限りは何としても9条を変えなければなりません。緊急事態の議員任期延長改憲は9条改憲に道を開くものです。この議員任期延長改憲発議をなんとしても阻止しましょう。

こうした明文改憲を狙う一方、9条破壊の政治がアメリカ・バイデン政権と一体になって進められています。この4月、日米首脳会談がワシントンで開催されました。2022年12月、敵基地攻撃可能とする軍備を備えるため、2027年までに軍費をGDP比2%とする大軍拡を進めることを決めた安保3文書を手土産に訪米した岸田文雄首相は「国賓」として迎えられ、バイデン大統領と会談し共同声明を発表しました。

声明では、憲法破壊の一層危険な政策を推し進めていくことを表明し、陸・海・空自衛隊を一元的に指揮する「統合戦司令部」創設を約束しました。さらに「日米同盟を一層前進させる」とし、米軍と自衛隊が一体となって動けるように「指揮・統制の枠組みを向上させる」ため、米軍と自衛隊の切れ目のない統合を表明しました。これは米軍が進める対中国軍事戦略に平時から自衛隊を米軍の指揮下に置き、有事になれば即時に戦時体制をとるものです。憲法9条に真っ向から対抗し、急加速する「戦争する国づくり」を阻止する運動を急速に強めていきましょう。

憲法9条は国際紛争を武力では解決をしないとしています。ロシア・ウクライナ戦争は2年3カ月に及び、昨年10月からのイスラエルのガザ・パレスチナ人への攻撃は「ジェノサイド」の様相になっています。ガザでの死者は3万5千人を超えています。この二つの戦争を止めることは国際社会の緊急の課題です。とりわけ、イスラエルのガザでの集団殺害を止めさせることは差し迫った課題です。

九条の会東北交流会に集った私たちは、憲法前文に謳う「国際社会において、名誉ある地位を占める」ため、「全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有する」とする平和主義を守り抜く運動を前進させ、闘うことを表明します。